

skyhoundz™  
news

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

JFAスタッフ一同

## ◎会長からのメッセージ

## JFA会員の皆様へ



新しい年へ向けて、皆さんへ短いメッセージを送ります。

お互いの能力をもっと伸ばす為に、1998年は一段とトレーニングに励みましょう。  
犬がもっと楽しんでスポーツができるようにしてあげましょう。そして、日本フリスビードッグ協会が日本中に広がっていくように協力してあげて下さい。

フリスビードッグというスポーツの発展に、引き続き応援をお願いします。私も日本でのフリスビードッグへの協力は惜しまないつもりです。

良い一年になりますように！

JFA会長ピーター・ブルーム

## JFA 日本フリスビードッグ協会1998年度活動計画

## A. 公式シリーズ戦の開催(9大会、1ファイナル大会)

第1戦	2月15日	静岡県静岡市 安西橋河川敷
第2戦	3月中旬	神奈川県内
第3戦	4月中旬	兵庫県内
第4戦	5月中旬	東京近郊→USAワールドチャンピオンチーム2チーム来日予定
第5戦	5月下旬	栃木県内
第6戦	6月中旬	関西地区
第7戦	7月中旬	北海道
第8戦	9月19日・20日	新潟県新潟市

(第15回全国都市緑化にいがたフェアにいがた緑のものがたり'98メイン会場にてメインイベントとして開催)

第9戦	10月上旬	関東近郊
ファイナル戦	10月下旬	東京近郊

<以上予定>  
JFA会員のみ参加可能。  
ファイナル出場権獲得ポイントの年間獲得ポイントの合計により上位50チームがファイナル戦へノミネートとなります。

## C. フリーフライト大会の開催

年間10~15大会を開催予定。  
JFA会員のみ参加可能。  
ファイナル大会を開催。  
(ピーター・ブルーム氏来日時)

## D. チャレンジ大会(ビギナー向け)の開催

年間20~25大会を開催予定。  
フリスビードッグファンチャーの拡大と認知、そしてマナーの向上と楽しさを体験してもらう大会とします。  
通常ファイナル戦は行なわないものとします。

## B. 公式オープン大会(トーナメント含む)の開催(公式コートサイズ)

年間10~12大会を開催予定。  
一般(非会員)参加を可能にし、フリスビードッグファンチャーの拡大をはかり、誰でも気軽に楽しく挑戦できる大会とします。  
ファイナル大会出場権獲得ポイントの年間獲得合計により、ファイナル戦へノミネートとなります。

## E. フリスビードッグ HOW TO しつけ教室の開催

ピーター・ブルーム氏に認定された全国47名のインストラクター(ビギナークラス)を中心に年間40~50回開催。

## F. 各種イベントへの参加、協力を積極的に行なう。



## 1998年度JFA公式戦参加規約

公式戦とはファイナル出場権ポイントを得られる大会であり、シーズン戦、オープン大会、オープントーナメント大会がそれに該当します。

◆年間公式シリーズ戦は9回開催されますが、その全てにおいて以下の参加規約を設けますので、参加者は充分留意してください。

- 1) 公式戦参加資格はJFA日本フリスビードッグ協会会員である事とする。  
(オープン大会、オープントーナメント大会は除く)
- 2) 公式戦に参加できる愛犬はJFA日本フリスビードッグ協会に事前に登録された愛犬のみとする。(オープン大会、オープントーナメント大会は除く)
- 3) JFA入会時には2頭まで登録することができますが、1人で2頭以上所有の場合でその登録犬を変更する場合は、同一人物の所有犬であることを証明できる書類を必ず添付の上、JFA本部事務局まで変更届けを提出することとします。尚、既に1頭登録済みのJFA会員が1頭追加登録する場合も上記同様の扱いとなります。(登録犬の変更は特別のことがない限り、原則1年に1回までとする。)  
但し、新規入会者は通常の登録犬手続きですぐにでも参加資格が与えられます。
- 4) 発情期：シーズン中の愛犬は出場、観戦出来ないこととします。但し、ファイナル戦は特別処置をとることとします。
- 5) 大会当日配布されるフリスビー以外での大会参加はできません。
- 6) 公式戦のジャッジに関しては、公正を記すものとします。
- 7) 一公式戦の参加に関しては以下とします。  
◇公式シリーズ戦／1人1頭(1チーム)での参加とし、1人で2頭の参加や1頭で複数人の参加はできないこととする。  
◇公式オープン大会、公式オープントーナメント大会／1人2頭(2チーム)または1頭で2人まで参加可能です。
- 8) 競技中にフン尿の行為があった場合は、その時点でそのラウンドを終了とします。

- 9) 予選第1ラウンド〈60秒〉終了後、ポイント上位25チームのみ予選第2ラウンド〈60秒〉へ進出となり、決勝ラウンド〈60秒〉は第1・第2ラウンドの合計ポイントの上位5チームのみ進出とします。(オープントーナメント大会は除く)
- 10) 同ポイントチームがいる場合は、次ラウンド進出チームが増えることとします。(オープントーナメント大会は除く)
- 11) 「ジャパンファイナル大会」は、公式大会でのファイナル出場権ポイントの年間獲得合計上位50チームで行なわれる。
- 12) ファイナル大会の決勝ラウンドは10チームで行なうものとするが、1オーナー1チームを基本とし、1オーナー2頭の愛犬が決勝ラウンドに残った場合は1・2ラウンドの合計ポイントの高い愛犬のみが決勝ラウンド進出となり、同ポイントの場合はどちらか1頭を選択しなければならない。  
但し、トーナメント大会は同一オーナーで2頭の決勝ラウンド進出を認めます。
- 13) 大会当日、受付け時間を過ぎた場合はいかなる事情においても欠席とします。
- 14) 手袋の使用は認めます。

## 他の大会に関して

### A. フリーフライト大会

- 1) JFA会員のみの参加とします。
- 2) 競技に使用するフリスビーは、各自持参することとします。  
(但し、JFA認定のフリスビーに限ります。)
- 3) 一回の競技で順位を決定し、その競技時間は90秒とします。  
但し、決勝ラウンドを実施する場合もあります。
- 4) 競技時に使用する音楽は、CDまたはカセットテープを各自で用意しそれを使用することとする。
- 5) その他公式戦の基準に準ずることとします。

### B. チャレンジ大会

- 1) 愛犬家としての良識のある方なら誰でも参加できます。
- 2) 1人2頭まで、1頭2人まで参加可能です。
- 3) ノーリードを基本としますが、JFA本部事務局へ事前に申請が行なわれ、且つ承認された場合に限りロングリードの使用が認められますが、この場合リードによる愛犬の引き戻しは禁止となります。  
また、他の愛犬等に迷惑がかからない範囲内での餌や好物等による呼び戻しは認めず。
- 4) 競技コート内にオーナー以外にも他の1名のみ補佐、付き添いとして入ることができますが、原則的にハンドリングは1

## ファイナル大会出場ポイント表

	1位	2位	3位	4位	5位	6位~10位	11位~15位	16位~20位
公式シリーズ戦	30P	20P	15P	10P	5P	3P	2P	1P
公式オープン大会	15P	10P	5P	3P	2P	1P	-	-
公式トーナメント大会	15P	10P	5P	準決勝進出チーム2P	-	-	-	-

※ファイナル大会へのノミネートは、ファイナル大会出場権ポイントの年間獲得合計の上位50チームとなります。

※各大会ごとに、当日のファイナル大会ポイントカードをポイント獲得者に配布いたしますので、ファイナル大会当日受け付け時に獲得した全てのポイントカードを提出してください。(ポイントカードが不足の場合は出場できません。また、ポイントカードの再発行はいたしませんので、各自で大切に保管するようにしてください。)

頭1名とします。

- 5) 1ラウンド〈45秒〉とし、全員1・2ラウンドを行いその合計ポイントで順位を決定することとします。
- 6) 競技コートはチャレンジコートとします。
- 7) その他公式戦の規約に準ずることとします。

#### C. レディース大会

- 1) 愛犬家としての良識ある女性なら誰でも参加できます。
- 2) 1人2頭まで、1頭2人まで参加可能です。
- 3) その他チャレンジ大会の規約に準ずることとします。

#### D. 子供大会

- 1) 小学生以下の子供なら誰でも参加できます。
- 2) 競技コートはビギナーコートとします。

3) その他チャレンジ大会の規約に準ずることとします。

#### E. 小型犬大会

- 1) 競技コートはビギナーコートとします。
- 2) その他チャレンジ大会の規約に準ずることとします。

※ 上記B～Eに関しては、ファイナル大会前日に行なわれるプレイベント大会において各大会の1位のチームのみがそれぞれの大会にノミネートされ、他の参加は通常の参加申込みでの募集となります。

## JFA認定公式審判員

競技会のジャッジは、JFA日本フリスビードッグ協会の認定を受けた下記の公式審判認定者がジャッジを務めるものとする。

山田 仁	能代谷正次	早川 利幸
石田 清	大石 邦晶	柳生 昌男
田村 均	若林 暢俊	岡村 一雄
横山 孝也	栗本 正幸	藤崎 孝樹
豊岡 秋男	笹子 雅司	篠原 晴彦
斎藤 盛悦	水野 祥二	高坂 健一
権藤 泰応	作田 孝行	菊池美奈子
斎藤 豪夫	内海 徹	古俣 伸子
関口 行広	上瀧 浩一	木下 佳子
横山 直正	仙田 敬司	鈴木 敬幸



# FRISBEE DOG EVENT

SSF笹川スポーツ財団主催

## 「スポーツ・フォア・オール国際フェア'97」

11月22日(土)・23日(日) 東京都神宮外苑軟式野球場

'97年度のジャパンファイナルも終了し、もう大会はないのかと思いきやさにあらず、まだまだやっとりますよと11月22日早朝本部新瀧を出发し無事神宮外苑に到着してみれば、何と！「本日は中止です。」というSSFの決定にスタッフはもとより参加者の方々も「ウツソ〜」と唖然。主催者の判断ではしょうがないと、せっかく会場まで来てくださった参加者の方達にはコート内で遊んでいただけよう、何とか許可をいただき、「練習だとうまくいくなよな〜」なんてジャンピングキャッチの連続に悔しさがにじみでていました。本当に申し訳ありませんでした。そして残念でした。

翌23日は何とか天気も回復し開催できましたが、コロコロと風向きが変わる波瀾万丈の一日となり、大変見応えのある大会となりました。当日はSSFの主旨にそって「誰でも、いつでも、どこでも気軽にできるスポーツ」として、大会の合間には来場者の方達にフリスビードッグを体験していただくコーナーもあり、JFAのインストラクターの方々をはじめとする協力スタッフの方々それぞれの愛犬達にも頑張ってくださいました。犬の入場が通常は禁止されている会場ですが、神宮外苑と笹川スポーツ財団のご好意により実現できましたことにお礼申し上げます。大会の方は、早くも来年のチャンピオンの呼び声の高い『菅沼&マルタン』チームがトーナメントとオープンを共に征し、古参？会員からプレッシャーをかけられていました。何はともあれ楽しい大会でした。



11/22(土) チャレンジ大会 雨天中止

11/23(日)

#### 小型犬

- 平川 順子&ユキ
- 後藤 美紀&もん太
- 平川 順子&ムサシ

#### フリーフライト

- 田辺 幸夫&ぶく
- 関口 行広&ローザ

#### トーナメント大会

- 優勝 菅沼 孝昭&マルタン
- 2位 田中 安夫&ミニー

#### オープン大会

- 優勝 菅沼 孝昭&マルタン
- 2位 加藤 明&サリー
- 3位 ヒロ・サイトー&エリーゼ
- 4位 村山 譲二&ピビアン
- 5位 笹子 雅司&てつ
- 6位 飯田 博夫&ドンク
- 7位 武居 和彦&エミ
- 8位 斎藤 豪夫&ブライト

「この犬種にとって  
8才はひとつの節目。  
この年頃に健康を維持できれば、  
もっと長生きできます。」

ピアデッド・コリーの代表的なブリーダー 大竹宏さん



7才頃を過ぎて変化する  
栄養要求をすべて満たした食事です。

“ペディグリー チャン ミキサー”〈シニア〉新登場。

「ピアデッド・コリーの場合、8才はひとつの節目。この年頃に健康を維持できれば、もっと長生きできるんですよ」とおっしゃる大竹宏さん。実際愛犬は、7才頃を過ぎると少なくなる運動量や低下しはじめた消化・代謝機能に合わせて栄養要求が変わってきます。そのため、成犬と同じ食事を与えていたのでは、理想的な栄養バランスを保つことができません。新登場の“ペディグリー チャン ミキサー”〈シニア〉は、7才頃を過ぎて変化したはじめた栄養要求に合わせてつくられたおいしい食事。年齢とともに不足しがちなミネラルやビタミンB群・Eなどの栄養は多めに、取りすぎてしまいがちなカロリーなどは少なめに摂取することで、栄養バランスを整えることができます。愛犬が元気で長生きできるように、7才頃を過ぎたらこの食事に切り替えてください。

“ペディグリー チャン”  
〈シニア〉

ビーフ&チキン・野菜入りの缶タイプもあります。



獣医師と開発  
‘トップブリーダー推奨’™

**ペディグリー チャン ミキサー**

〈シニア〉



ウォルサム®  
ペットケアとペット栄養学の  
世界最高権威

“ウォルサム”は、1965年に設立されたペットケアとペット栄養学の研究機関です。獣医学者、栄養学者、生化学者、動物行動学者、繁殖学者など世界各地に点在する1000人以上もの研究者が専門的な知識と経験をもとにペットの栄養と行動についての詳細な研究を続けています。その研究成果は、獣医師などを対象としたシンポジウムやセミナーなどで発表され、世界中の学術団体やペットの栄養学および行動学の分野にも貢献していることが広く認められています。そしてこの“ウォルサム”と共にすべての“ペディグリー チャン”製品は開発されています。